

レボピマラジエン合成酵素

Cat. No. EXWM-5190

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 イチョウでは、酵素がギンコライドの生合成における最初の環化ステップを触媒します。ギンコライドは、構造的にユニークなジテルペノイドのファミリーであり、非常に特異的な血小板活性化因子受容体拮抗剤です。レボピマラジエンは高等植物に広く分布しています。いくつかの種では、酵素はアピエタジエン、パルストラジエン、ネオアピエタジエンも形成します。

別名 PtTPS-LAS; LPS; コパリルニリン酸ニリン酸リアーゼ [アピエタ-8(14),12-ジエン形成]

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 4.2.3.32

反応 (+)-コパリルニリン酸 = アピエタ-8(14),12-ジエン + ニリン酸

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5-9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。